

## 4 - 15 長野県王滝村付近の地震の群発について

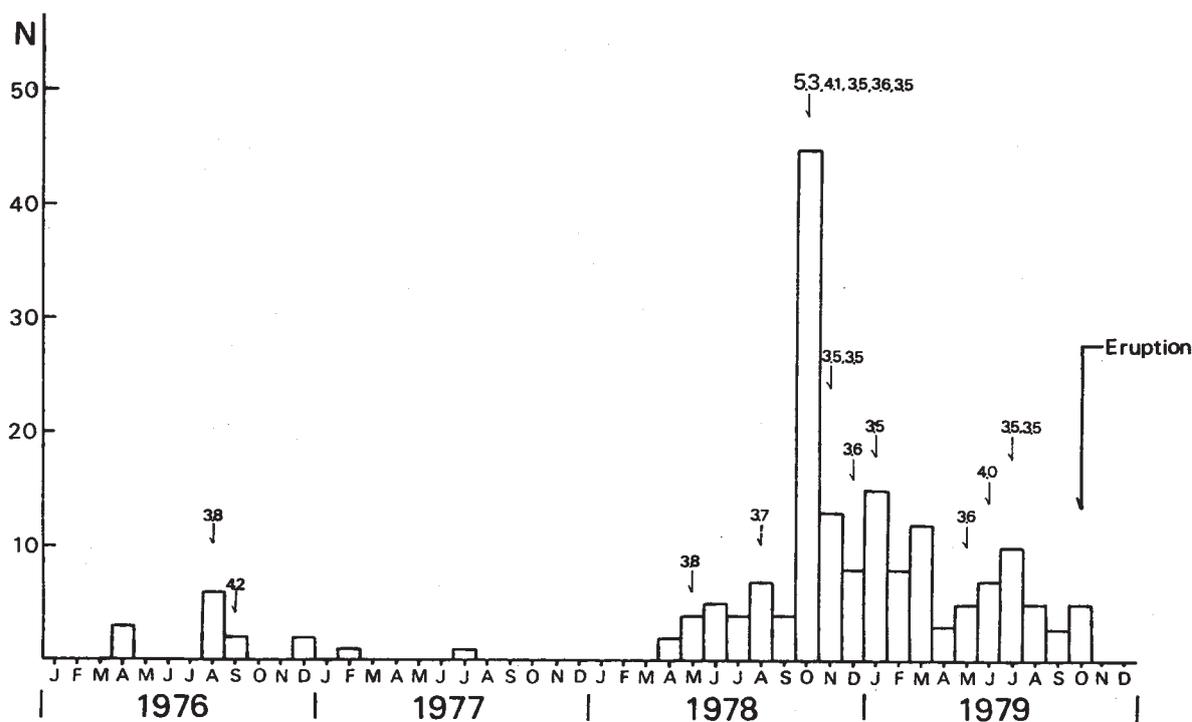
### On the Earthquake Swarm at the Otaki District, Nagano Prefecture

気象庁 地震予知情報室

OIEP, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

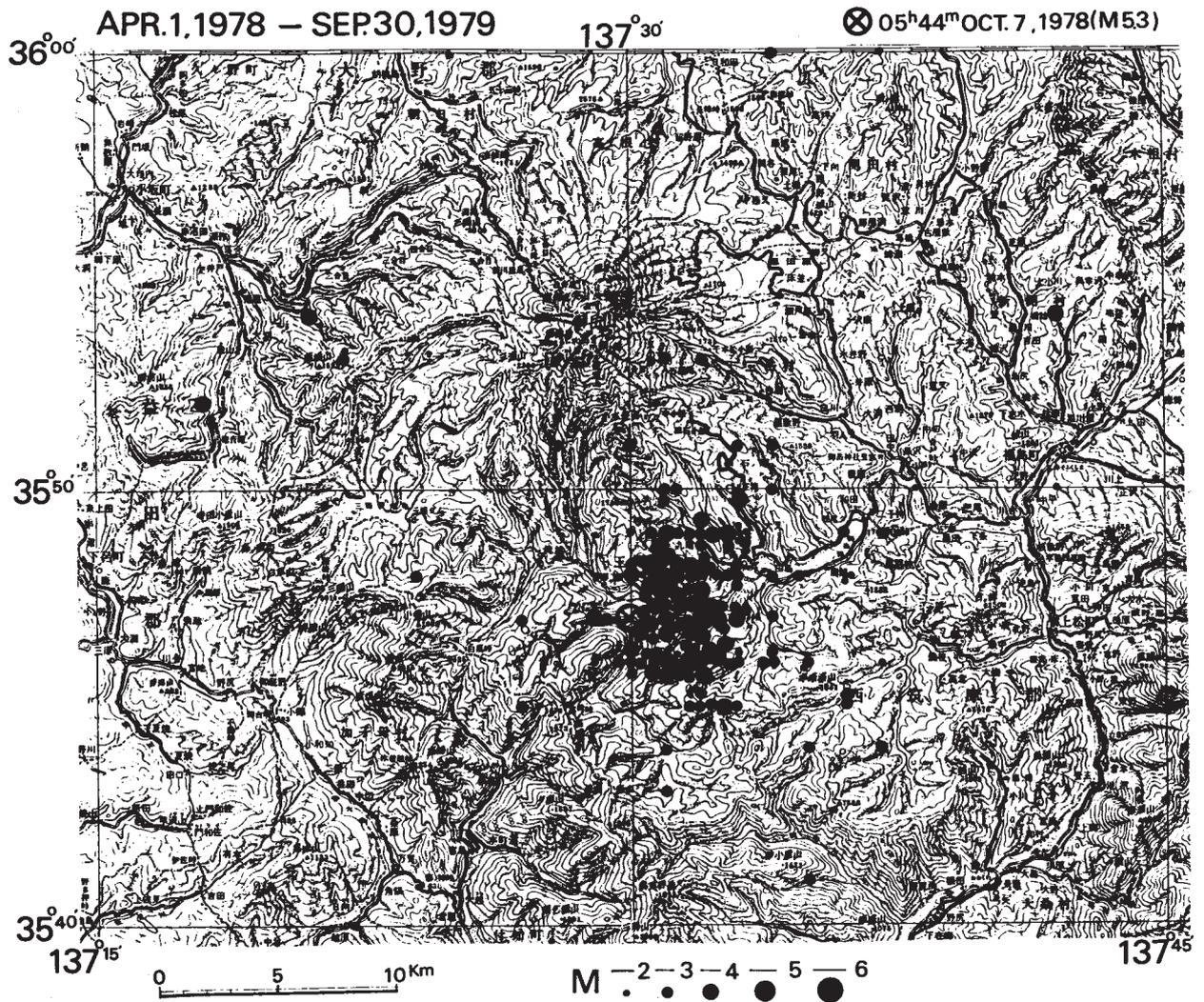
王滝村付近では昭和51年8月頃から地鳴りを伴う地震が断続的に発生し始めたが、10月以後は静かになった。また、約2年後の昭和53年5月頃から再び小または微小地震が発生するようになり、10月7日には本震ともいふべきM5.3の地震が発生した。その後余震が続いたが、第1図のようにM5.3にしては余震活動の減衰が小さく、むしろ群発的傾向を示していた。震央分布は第2図のようにいずれも王滝村付近で、震源の深さは0~10km、震央域は直径約数kmであった。今年(昭和54年)になってからの地震活動は、第1図のように時間の経過と共に発生数、規模共に減少的傾向を示していたが、10月28日05時21分頃から御岳山が噴火を始めた。

地震の発生と噴火との関係は現時点の資料では明らかではないが、今後の火山関係諸機関大学の総合機動観測の結果に期待したい。



第1図 長野県王滝地方の地震活動の変化

Fig. 1 Variation of seismic activity at the Otaki district, Nagano Prefecture.



第2図 王滝地方に発生した地震の震央の分布

Fig. 2 Distribution of epicenter of earthquakes occurred at the Otaki district.